



喜小だより



令和3年5月18日発行

発行者 齋藤孝之

自ら学ぶ子 思いやりのある子 健康な子

一人一人がきらきら輝く喜連川小学校

さわやかな5月！本格的に、学習、運動開始！

ゴールデンウィークが終了しました。この後は、7月の夏休みまで祝日や連休等がなく、学習や運動に集中して取り組むことができる時期になります。4月に入学した1年生も、5月10日（月）からは、他の学年と同じように、5時間授業が始まりました。それに伴い、清掃を上級生と一緒に رفتり、昼休みに友達と一緒に遊んだり、すっかり喜連川小学校の1年生として、楽しく生活しています。学校行事等も、新型コロナウイルス感染症への対応と児童の学びの両立をめざし、計画を工夫しながら実施しています。連休が終わった週には、避難訓練や新体力テスト等の行事を行いました。時間をずらしたり、日にちをずらしたりしながら、密にならないようにしています。また、野菜の苗植えや花の種まき等、学年の学習計画に応じた体験活動も活発になってきました。今回は、連休明けの子どもたちの活動の一部を紹介いたします。



避難訓練 5月10日（月）

地震や火災等は、いつ起きるか分かりません。「安全・安心」は、学校にとって最重要事項です。子どもたちを安全に守るために、そして、子どもたちが自分の身を自分の力で守ることができるように育てていくことが大切です。コロナ禍での訓練となりましたが、時間をずらしながら、学年・学級ごとに実施しました。真剣な表情で、避難経路や避難場所を確認することができました。



2年生生活科

5月10日（月）

2年生の生活科「野菜をそだてよう」の学習です。この日は、一人一人の植木鉢に、それぞれが選んだ野菜の苗を植えました。



安全・安心スクールバス 5月6日（木）

喜連川運動場で、「安全・安心スクールバス」の運用開始式が行われました。さくら警察署長様から「おねがい止まってとちぎ県」のマグネットをいただき、本校のスクールバスに貼りました。

安全・安心なさくら市を目指しています。



新体カテスト 5月11日(火)～13日(木)

新型コロナウイルス感染症への対応として、11日に3・4年生、12日に1・6年生、13日に2・5年生と、3日間に分けて、班の人数を減らして密にならないように実施しました。昨年度から、子どもたちの運動不足が懸念されていましたが、子どもたちのカー杯のはつらつとした姿を見ていると、懸念が吹き飛ぶような気持ちになりました。今後も、学習と運動の両立をめざしていきます。



6年生薬物乱用防止教室

5月13日(木)

栃木県警察の「きらきら号」をお呼びして薬物乱用防止教室を行いました。6年生は、真剣な表情で説明を聞き入っていました。



挨拶いっぱい
笑顔いっぱい
元気いっぱい

3年生総合的な学習の時間 5月12日(水)

「なすを育てて漬け物を作ろう」の学習で、学校の畑になすの苗を植えました。この後は「喜連川温泉なす」の調べ学習につながっていきます。



1年生生活科 5月12日(水)

「あさがお」の種を、一人一人の鉢にまきました。土を入れて、種を入れる穴を作って、慎重に種を蒔いていました。



さくら市青少年センターあいさつ巡回活動5月12日(水)

3名のさくら市青少年センターの皆さんに先生方が加わり、あいさつ活動が行われました。元気のよい子どもたちのあいさつは、学校の宝です。

